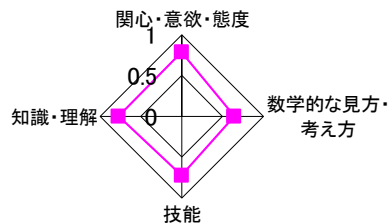


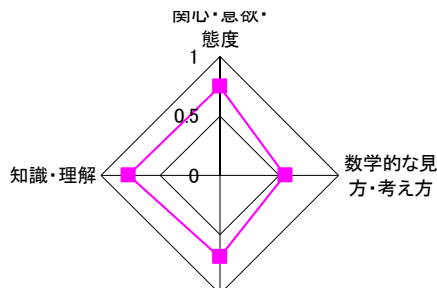
内容別・観点別の分析 (様式2)

1年	観点別平均達成率
関心・意欲・態度	78%
数学的な見方・考え方	64%
技能	73%
知識・理解	78%



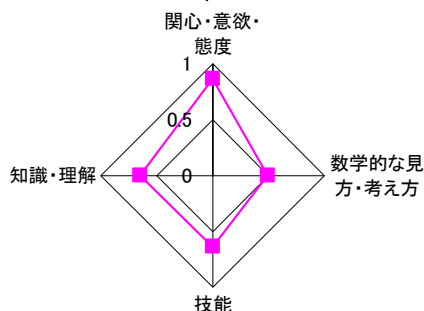
定期考査及び7月までの指導状況の分析

2年	観点別平均達成率
関心・意欲・態度	75%
数学的な見方・考え方	55%
技能	69%
知識・理解	77%



定期考査及び7月までの指導状況の分析

3年	観点別平均正答率
関心・意欲・態度	87%
数学的な見方・考え方	49%
技能	64%
知識・理解	65%



定期考査及び7月までの指導状況の分析

指導方法の課題分析と具体的な授業改善策及び補充学習等の計画 (様式3)

	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な指導計画
1年	見方・考え方の観点以外では、概ね達成している生徒が多いが、中には理解できないために、関心・意欲・態度の点で不十分な者がみられるので、この点について指導改善する。	<ul style="list-style-type: none"> ・計算問題の演習を多く行い、計算技能を定着させる。 ・すぐに解説するのではなく、ヒントを与え、生徒自らの力で答えを導かせ、分かる喜びを経験させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小テストを行い、基礎学力の定着を図る。 ・学力向上支援講師と連携して個別指導と補充学習を実施する。 ・副教材を利用し、各自の学習課題に応じた学習ができるようにする。
2年	知識・理解と比較して、技能、さらに見方・考え方が定着していないので、この点について指導改善する。また、次年度に向けて、意欲的に取り組む姿勢をしっかりと定着させることも必要である。	<ul style="list-style-type: none"> ・計算問題の演習を多く行い、計算技能を定着させる。 ・授業では、重要な知識や解法について、特に意識して指導する。 ・すぐに解説するのではなく、ヒントを与え、生徒自らの力で答えを導かせ、分かる喜びを経験させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小テストを行い、基礎学力の定着を図る。 ・学力向上支援講師と連携して個別指導と補充学習を実施する。 ・副教材を利用し、各自の学習課題に応じた学習ができるようにする。
3年	最上級生となり、学習に前向きに取り組む姿勢ができてきた。知識や技能も少しずつ定着してきている。一方で「数学的な見方・考え方」が他の観点に比べて不十分なところがあるのでこの点について指導改善する。	<ul style="list-style-type: none"> ・レポートや小テストを行い、深く考える場面を増やす。 ・自らの考え方を説明できるような指導場面を設定する。 ・すぐに解説するのではなく、ヒントを与え、生徒自らの力で答えを導かせ、分かる喜びを経験させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小テストを行い、基礎学力の定着を図る。 ・学力向上支援講師と連携して個別指導と補充学習を実施する。 ・3年間の復習確認テストを行い各自の学習課題を確認できるようにする。